

# 発達障がい児支援・特別 支援教育支援員の課題は

答 各児童生徒は援助方法が違い、マニュアル化できない



赤嶺奈津江議員

**問** 特別支援教育支援員の課題は何か。

**教育長** 特別支援教育支援員は年々増えている。そのため、支援員の確保が厳しくなってくる。児童生徒の個性により援助の方法が違い、マニュアル化できない。

**問** 南風原町で経験を積み、他市町で支援員をしている方もいると聞く。待遇面での問題があるのではないか。

**教育長** 町で経験を積んだ支援員をできるだけ町で継続してもらおう方針はある。今後、待遇の改善も含めて努力をしていく。

**学校施設の整備を問う**

**問** 北丘小学校を含め、4小学校、2中学校の再整備やメンテナンスの計画がどうなっているか。

**教育長** 北丘小学校整備が終われば、実施計画に基づいて

南星中学校から順次整備を進めていきたい。

**教育部長** メンテナンスを重視して年数の経っている学校から順次、北丘小学校同様の手法で行っていく。

**問** 北丘小学校は校舎以外で、今後の整備を検討している箇所はあるか。

**学校教育課長** 北丘小学校は、体育館の整備を検討している。また、進入口が1か所しかないため避難通路含めてあと1か所検討していく。北丘幼稚園の屋外環境も今後検討していく。



北丘小体育館も整備が必要

**子どもたちの放課後居場所づくりは**

**問** 翔南学童で増園の課題が出ていると聞く。地域環境の違いに合わせた放課後居場所づくりを支援してはどうか

**副町長** 翔南小校区は他の校区に比べて学童クラブが少ない。毎年、定員以上の申込があり、学童クラブに入れない児童が出ているのが現状である。保護者等から学校敷地内への新規学童の設置要望が寄せられている。その件については、これから教育委員会と協議を進めていく。